



新規創業を支援する
新潟大学MOTの概要紹介
一起業・企業は人なりー

*Graduate School of Technology Management,
Niigata University*

新潟大学 技術経営研究科 技術経営専攻

2

Introduction Of MOT, Niigata University

内容と特徴

テクノロジーとビジネスとを融合した『知』の再構築をサポートし、組織イノベーションをリードする実践力をともなったビジネスキーパーソンを養成する専門職大学院修士課程 『経営品質の向上』に寄与

お薦めしたい方

高度技術管理者や高度経営管理者を目指す社会人

開講時間〔夜間主開講〕

平日：18:05～21:15

土曜日：9:00～16:30

修了年限：2年間〔標準〕～4年間〔長期履修〕

定員：20名

開設：平成18年度



MOT
Niigata University

新潟大学MOTの特徴

3

Introduction Of MOT, Niigata University

1

地域企業の経営品質を継続的かつイノベティブに向上し
うる能力とスキルを育成する。

2

総合大学の特徴を生かして、
・豊富なメニューの中から、受講者の希望に最適な履修プロ
グラムを選択できる。
・俯瞰的かつ多面的な観点から、分析・モデル構築ができる。

3

プロジェクト演習を通して、産学のニーズ・シーズのインタラク
ションによる
・実践力のある高度専門職業人の育成
・新製品・新技術の発信加速

新潟大学MOTが養成する能力

4

Introduction Of MOT, Niigata University

組織の知識・知恵を活かす組織編成・運営能力

経営組織、人的資源管理、ナレッジマネジメント

リスクに強い組織への変革能力

経営管理と社会的責任、リスク・危機管理、知的財産戦略

効果的資源配分の策定と実践ができる能力

経営戦略、ファイナンス、品質設計・評価

アイデアを深耕し具現化できる能力

モノづくり戦略論、R&Dマネジメント、アグリフロンティアビジネス

市場との対話による競争力を強化できる能力

マーケティング、国際競争戦略、SCM

竹刀で戦うのと
真剣で戦うのでは
どちらが実力がつくか？

ポジション

- ・学生：企業よりニーズを抱えてきている。
- ・大学：シーズを数多くもっている。
- ・MOTが最も産学連携しやすい立場にある。

教育目標

ケーススタディの内から、企業との協働により
具体的なビジネス立ち上げを仕掛ける。
これらを通して実践力を育成する。

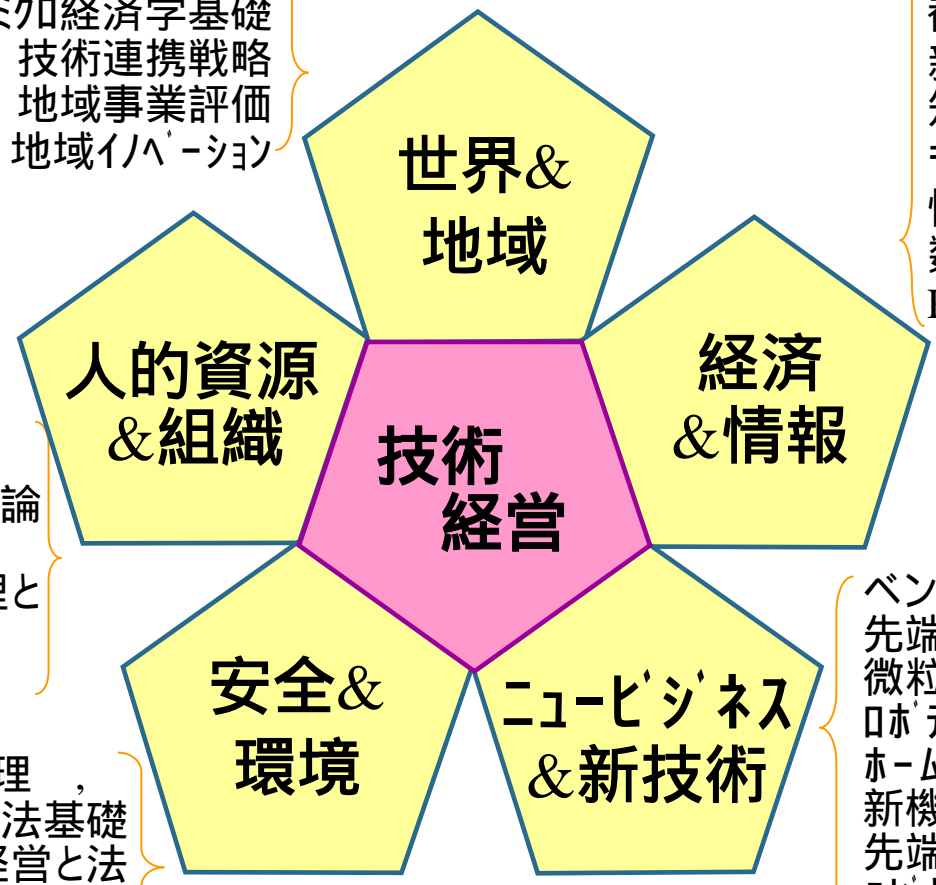
新潟大学MOTの科目

Introduction Of MOT, Niigata University

工学マネジメント論
先端科学技術と産業

国際競争戦略 ,
世界経済事情特論
経営戦略 ,
マクロ経済学基礎
ミクロ経済学基礎
技術連携戦略
地域事業評価
地域イノベーション

情報と法システム
ネットワーク社会における情報管理
企業会計基礎
ファイナンス , マーケティング ,
都市情報システム
新技術評価 品質設計・評価
知的財産戦略 ,
ものづくり戦略論 ,
情報システム構築 SCM
数理統計学基礎 OR基礎
R&Dマネジメント ,



人的資源管理 ,
人的資源管理特論
経営組織 ,
経営管理と
社会的責任 ,
ナレッジ・マネジメント ,

リスク・危機管理 ,
民法基礎
企業経営と法
資源・エネルギー戦略
環境技術

ベンチャ起業特論
先端高分子材料 生体触媒工学
微粒子工学 エンバーサルデザイン
ロボティクス 車載情報技術
ホームオートメーションシステム
新機能材料ビジネス
先端加工ビジネス 医療ビジネス
ユビキタスネットワーク
アグリフロンティアビジネス
バイオマス開発ビジネス



MOT講義の進め方の分類

7

Introduction Of MOT, Niigata University

講義(1) 教員による講義(Chalk & talk)

主に**基礎プログラム**

(可能な限り双方向のディスカッションを心がける)

講義(2) 教員による講義とケーススタディ*

主に**コアプログラム**

(双方向のディスカッションをふんだんに取り入れる)

講義(3) 技術背景についての講義

および課題についてのグループディスカッション*

主に**発展プログラム**

(学生が抱えているビジネス展開のための技術課題、教員の有する技術シーズのビジネス課題について、学生と教員がともに考え、解決に導くプロセスを学ぶ)

プロジェクト演習(PBL; Project-based learning)

: ケーススタディを実施し、ディシジョンメイキングプロセスを学ぶ。

: 課題を選定し、この課題に対する企画提案書(アクションプラン)を作成

(必要に応じて)ディシジョンメイキングに必須な予備実験も実施

* いずれも、ケーススタディ、グループワーク、テクニカルヴィジット、個別演習を含む。

MOT
Niigata University

履修構成

8

Introduction Of MOT, Niigata University

基礎プログラム(6)

- ・工学マネジメント論(2)
 - ・企業会計基礎(2)
 - ・先端科学技術と産業(2)
 - ・民法基礎(2)
 - ・マクロ経済学基礎(2)
 - ・ミクロ経済学基礎(2)
 - ・数理統計学基礎(2)
- (7科目)

コアプログラム(28)

- 〔必修科目〕
 - ・ものづくり戦略論 , (4)
 - ・経営戦略 , (4)
 - ・プロジェクト演習 , (8)
 - 〔選択必修科目〕
 - ・マーケティング , (4)
 - ・...
 - ・ユニバーサルデザイン(2)
- (48科目)

発展プログラム(6)

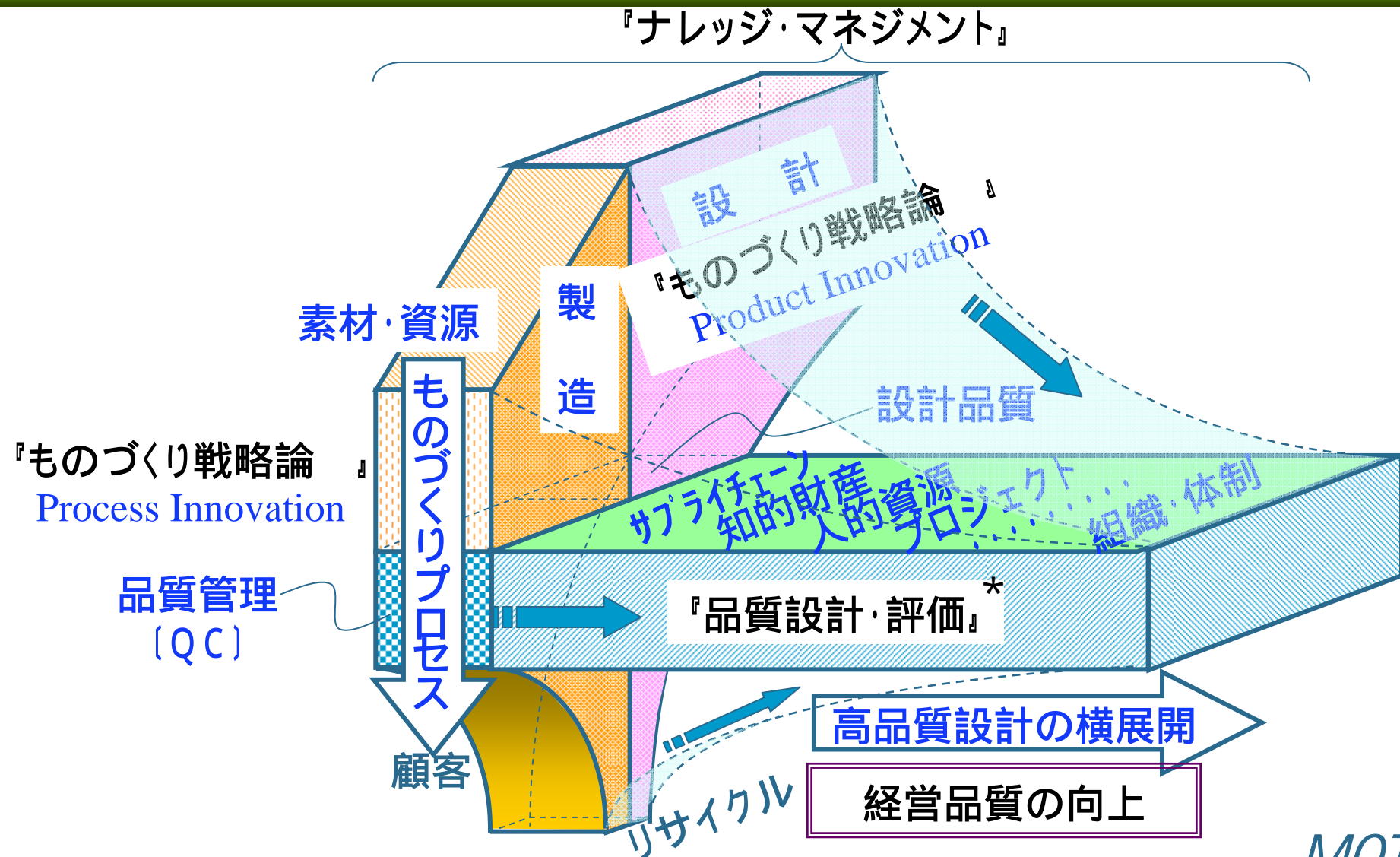
- ・ユビキタスネットワーク(2), (2)
 - ・都市情報システム(2)
 - ・先端加工ビジネス(2)
 - ・...
- (9科目)

(修了要件：合計40単位以上を履修)

科目の構成例

9

Introduction Of MOT, Niigata University



* :ものづくりにおける品質管理の横展開により経営品質の向上に資する

【1】管理

- 1)組織のマネジメント
- 2)事務(間接)業務の合理化・生産効率の向上
- 3)異業種との交流 / ベンチマーク
 - ・ Synergy効果 / Scramble効果が期待できる。

【2】教育

- 1)学生に対するCS(Customer Satisfaction)
 - ・双方向教育・トレーニング、IT活用教育・・・
- 2)学生の就職先の現状を理解できる。
 - ・モノづくり現場、知的財産、ナレッジマネジメント、マクロ/ミクロ経済、人財管理、モチベーションの与え方・キャリアパスの描き方、マーケティング・・・
- 3)新技術・新ビジネス分野についての理解

【3】利便性

- 1)働きながら通える。
- 2)幅広い分野から、本人に合った科目を選択し、系統的に学習ができる。
 - ・忙しい方こそ受講して、ほかの皆さんを引っ張って行って欲しい。
 - ・「暇ができれば・・・」との発想では、永久に出来ない。



Slogan of Niigata MOT

11

Introduction Of MOT, Niigata University

規模は小さくとも、強い技術力で
地域から世界に発信する
新事業の共創

Small but strong,
new global business innovation

地域の伝統を活かし、
安心と安全を提供する
ビジネスプロセスの変革を！

MOT
Niigata University



Thank You !

新潟大学 専門職大学院 技術経営研究科

<http://www.mot.niigata-u.ac.jp/index.html>

mailto:toki@mot.niigata-u.ac.jp

*Graduate School of Technology Management,
Niigata University*